

研究開発と Society 5.0 との橋渡しプログラム (BRIDGE)

諸外国での金属・自然資源等の再生資源の調達に向けた国際ルールへの対応と海外調査事業における
研究開発責任者の決定について

独立行政法人環境再生保全機構（理事長：小辻 智之、以下「ERCA」という。）が公募を実施した、研究開発と Society 5.0 との橋渡しプログラム（以下「BRIDGE」という。）令和5年度補正予算措置分「諸外国での金属・自然資源等の再生資源の調達に向けた国際ルールへの対応と海外調査事業」における、研究開発責任者が決定しました。

BRIDGE は、「研究開発と Society5.0 との橋渡しプログラム運用指針」（平成29年5月29日ガバニングボード決定）に基づき、各省庁の研究開発等の施策のイノベーション化につなげるための「重点課題」を設定し、官民研究開発投資拡大が見込まれる領域における各省庁の施策の実施・加速等、研究開発だけでなく社会課題解決等に向けた取組を推進するプログラムとして実施されています。

BRIDGE 施策「諸外国での金属・自然資源等の再生資源の調達等に向けた国際ルールへの対応と海外調査事業」（以下「本事業」という。）は、「研究開発と Society 5.0 との橋渡しプログラム (BRIDGE) (令和5年度補正予算措置分) の実施方針」（令和5年12月21日ガバニングボード決定）において、重点課題「国際的な研究開発動向や社会ニーズの観点から、研究活動が不足している課題」に対応するものとして、令和5年度補正予算措置対象施策に選定されました。

今回、本事業のテーマ1「サーキュラーエコノミー（循環経済）の海外調査・技術実証」、テーマ2「先端技術を用いた ASEAN 地域からの自然資本の持続可能な調達の評価検証事業」を実施する研究開発プロジェクトの研究開発責任者について、令和6年2月8日（木）から2月29日（木）まで公募を行い、公募締め切り後、ERCA に設置した選考・評価委員会において選考を実施しました。その結果に基づき、研究開発責任者2名が決定いたしました。

表. 採択研究開発プロジェクト及び研究開発責任者

テーマ	研究開発プロジェクト名	研究開発責任者	所属機関
1	サーキュラーエコノミー（循環経済）の海外調査・技術実証	佐野 拓也	株式会社アビツ
2	先端技術を用いた ASEAN 地域からの自然資本の持続可能な調達の評価検証事業	大谷 智一	みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社

<お問い合わせ先>

独立行政法人環境再生保全機構 環境研究総合推進部 SIP 推進課

〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310番 ミューザ川崎セントラルタワー9階

TEL : 044-520-9641 FAX : 044-520-9660

E-mail : sip_ce@Terca.go.jp (AT を@に変換してください)